

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議	文書番号	上富子育 第 719 号
		決裁期日	平成 26 年 3 月 28 日
名 称	【平成 25 年度第 3 回】上富良野町子ども・子育て会議		
日 時	平成 26 年 3 月 27 日（木） 14：00～16：20		
場 所	上富良野町保健福祉総合センター 2 階研修室		
出席者	子ども・子育て会議委員 14 人(別紙名簿のとおり) 株式会社ぎょうせい主任研究員 瀬尾 保健福祉課長 石田、健康推進班 杉原、子どもセンター 山田主査、 子育て支援班 安井、吉河		
内 容	<p>1 開会 石田課長</p> <p>2 議事 委員長進行</p> <p>(1) アンケート調査結果報告について 事務局より集計結果概要と感想 回収率は約 6 割。小児科医療に関する意見が多い。 意見の中には、現状の事業で対応できる要望もあり、周知不足を反省。 株式会社ぎょうせい主任研究員より、集計結果報告 行政が行うアンケートの回収率としては、まずまずの結果 設問を追って結果概要説明</p> <p>【委員長】 アンケート結果について、ページを追って質問を求める。 ・ 委員からは特に質問なし</p> <p>【委員長】 自由記述の回答が非常に多い。同じような意見も多いので、施策に反映できるような採りまとめができないか。 ・事務局： 次回の会議前までに整理した資料を作成する。</p>		

【委員長】 各委員にアンケート結果についての感想を求める

- ・広瀬委員 : 現在実施しているサービスが十分に周知されていないこと、利用されていないことは残念に思う。
- ・菅野委員 : 就学前の回答者に20代の親が少ない。若い世代の親の情報や関心が少ないように感じる。子育て支援は充実していると思うが、関心の薄い世代にどう働きかけてゆくかが課題と感じる。
- ・菊池委員 : 子育て施策の満足は高く、私自身も保育施設サービスも充実していると思うが、一時預かりの利用方法、小児科医療の課題、郡部から入所している方の送迎の課題などを感じる。
- ・北村委員 : 自由記述の意見に同感できるものが多くあった。サービスがあっても知らなかったり、知っていてもあと少しのところ、申込み方法や利用時間など使いにくい制度であったりする。今後の計画に反映させ、もっともっと良いものにできればと思う。
- ・森井委員 : この調査の結果がほかの自治体と比べてどうなのかわからない。同規模の自治体の結果がわかるとよかった。自由記述にも他の自治体のことが書かれており、近隣の状況も勉強したいと思った。  
延長保育の時間がPM5:30～で利用料がかかるのはどうかと思う。
- ・増田(修)委員 : 幼稚園にはお預りの制度がない。富良野沿線では、うちが一番多く職員配置している。フリーの職員4人を配置。厚労省と文科省では補助が全く違う。国の制度の問題、親の立場から見た環境などいろいろな問題が見えてきた。  
3歳未満児の母親に対する勉強会をぜひ希望する。
- ・増田(光)委員 : ニーズ調査の結果では「利用の必要がない」の回答数が多い反面、自由記述では要望が多い保育サービスなどの結果を計画にどう反映してゆくのかが、判断の難しいところだと思う。
- ・高松委員 : 一時保育などの要望にも応えたいが、保育士の確保が非常に難しい状況にあるのが現状
- ・成田委員 : 20代の親の回答率をみると、もっと子育てに関心を持ってもらいたいと感じる。一時保育の利用なども原則3日前とはなっているが、緊急時など対応可能な場合には好むるので相談してほしい。  
卒園後の小学生の預かりの要望があった。
- ・寺岡委員 : ファミサポでは緊急時や病後児の対応もしているのだから、周知をしっかりとしていきたい。信頼して預けていただけるようなネットワークづくりに励みたい。
- ・高木委員 : 子育て支援のボランティアをしているが、それぞれの事業が充実していると感じている。
- ・野崎委員 : ひとり親の率や回答者の年齢層など、まんべんなくいろいろな層から回答があったのか。若いお母さんが一人で苦労している部分が多かくなか回答に返ってこないのかなと感じる。

・若林副委員長：現在の放課後プラン事業は、10年ほど前と比べると非常に手厚くなっているが、子ども達が、子ども同士の関わり方、遊び方がわからないように感じている。学校としても子どもの表現力、子ども同士の関わり合いを大事にした教育を展開してゆかなければならないと感じている。

【委員長】 次回までに、自由記述意見の整理と、年齢別のクロス集計結果を用意していただき、論点を整理して、意見交換ができればと考えている。  
次に、事務局より、計画の概要とスケジュールについて説明

事務局： 今後策定してゆく計画の概要と、会議で審議する事項の確認  
単純な事業必要量の見込みを調査結果から出すことはできるが、地域の特性や回答していない層への配慮、量だけでなく保育の質の問題、利用しやすい事業実施など、皆さんから意見をいただきたい。  
別紙スケジュールのように、5月くらいには、各施設の意向を確認して、町の考え方をたたき台として示していきたいと考えていたが、委員長が申したように、意見交換のため4月末か5月初めに、次の会議を開催したい。  
事前に追加資料を準備して、会議前に送付する。

【委員長】 計画の概要、今後のスケジュールについて、質問・意見ないか。

委員： 特になし

【委員長】 その他、事務局から何かありますか。

事務局： 高松委員の交代について報告  
中央保育所施設長の高松委員が定年退職に伴い、辞任委員の入れ替わりを予定している。  
また、町の人事異動により、子ども・子育ての新制度に向けて専任課長を配置することになっている。

【委員長】 予定の時間を過ぎたが、以上で今日の会議を終了する。